

NPO 法人日本ラオス子どもの未来ニュース NO. 9

2021年5月15日 〒203-0013 東久留米市新川町1-4-11 090-2302-4908

kanseiwakingupua1950@yahoo.co.jp

NPO 法人の定期総会を開催します

6月5日にハイブリッド（会場参加、オンライン参加併用）で開催

6月5日（土）午後2時～4時30分の予定で、2021年度定期総会を開催します。

コロナウイルス対応として、理事、監事中心の会場参加とオンライン（Zoom）での参加の2本立て方式（ハイブリッド開催）で開催することにしました。会場は、新宿区四谷三栄町「芝本ビル会議室」です。Zoom参加を希望される方には、ご出席の返信をいただいた方に、ZoomのURLをお知らせします。

会員総数は33人、17人で総会は成立しますので、ご欠席の方も、委任状をご提出ください。

議案は、第1号議案「2020年度事業報告及び決算報告、監査報告」、第2号議案「2021年度事業計画案及び事業予算案」、第3号議案「役員再任案」です。

総会のご出欠について

- ①このメールアドレスにご返信ください⇒kanseiwakingupua1950@yahoo.co.jp
- ②その際、「お名前」「ご出欠」「ご出席の場合のZoomUrlをお送りするあなたのメールアドレス」をお書きください。
- ③ご欠席の方は、委任状（様式自由～「議長に委任します」「あなたのお名前」などをメールでご返信ください。

昨年の主な事業

- ◆8月にオンライン講座～安井清子さんとZoomで繋がり、ラオス最新事情、シビライ村のモン刺繍販売、ラオス民話語りの講座を開催し、約40人が参加しました。
- ◆ラオスバザール&ラオス民話パネルシアター上演会を、9月26～27日に駒込「東京

琉球館」で開催しました。モン族刺繍 50 点、沖縄物産、くるみパンなど、占い (300 円)、DVD 上映。ラオス民話「ワニとサル」「ピーコンコイ」などをパネルシアターでオリジナル上演。のべ 40 人が来場しました。

◆12 月 30 日、ラオス子どもの家財団理事長、事務局長ほかとオンラインで情報交換をしました。

会費納入のお願い

今年度は、会のリーフレット作成、ラオス子どもの家財団や安井清子さん、そしてタイの八木沢さんなどとオンラインで結んでの講座、モン刺繍クラフト販売会などを予定しています。

また、裏面のラオス子どもの家財団への支援を強化することもあり、会費をお納めください。郵便振替用紙を同封しました。(ATM での郵振の手数料は 152 円です)。また、みずほ銀行の口座もあります。

◆年会費は 3,000 円です。また、20 年度未納の方がいらっしゃいます。下記に納入・未納情報を記載しました。未納の方は、お納めいただきますようお願いいたします。

→ 未納はありません 20 年度分が未納です

→ みずほ銀行東久留米支店 (普) 1245512 特定非営利活動法人日本ラオス子どもの未来

旧「アジア子どもの家」の敷地 (サイロム地区) から、ラオス政府機関「中央子ども文化センター」が退出しました。

🏠 これで土地、建物の全面的使用が可能となりました。

1996 年から自治労がアジア子どもの家事業を開始、カウンターパートとして SVA (公益社団法人シャンティ国際ボランティア会) が運営していました。自治労が事業撤退し、2003 年から 08 年までは SVA が使用した後、管理権が現「ラオス子どもの家財団」理事長に移譲されたものの、開設当初から仮住まいしていたラオス情報文化観光省の下部機関「中央子ども文化センター」が継続使用していました。移転調停を締結していたものの、移転先が見つからず継続使用していました。

そしてようやく 2020 年、文化センター所長交替の時期に、関係者が奔走した結果、移転先を確保し、長年の懸案だった退出が実現しました。これで、ラオス子どもの家財団が名実ともに所有、管理することが出来るようになりました。

中長期的には、建物の老朽化が進んでいることもあり、解体して新築する予定ですが、施設を空けていることも良くないうえ、毎週土曜日に実施していた音楽教室を継続し、子ども図書室の蔵書管理もあり、最低限の修理を行い、一部施設の使用を開始しました。

施設管理のため、子ども文化センターを退職していたブンパックさんに業務委託しています。

ラオス子どもの家財団が奨学金事業などを開始

2019 年にラオス政府から認可された財団は、日本でいうと「NPO 法人」に類似した非営利の社会貢献活動団体です。

同年 7 月に私たちも参加してビエンチャンで設立記念イベントを開催し、以降、当面の活動として、奨学金事業を進めています。小学生から専門学校生を対象にしています。また、ビエンチャン県での小学校開校事業にも着手しました。

さらに、中央子どもセンター退出後のサイロム地区で、乳幼児保育事業開始をめざしています。今年度は事業をより進捗させる予定です。

財団の役員を改めて紹介します。

◎理事長 スパポン（ハークゲオ学園理事長）

副理事長 ビエンサマイ（元世界銀行ラオスプロジェクトメンバー）

副理事長 マニダン（ハークゲオ小学校 PTA 会長、自閉症児など障がい者マラソン主催等）

事務局長 オラソン（元国連・UNDP 職員）

事務局員 カンポン（ハークゲオ幼稚園職員）、トゥン（ハークゲオ幼稚園総務職員）

*財団役員は、5 年任期